

# 財政状況の公表（26年度上半期）概要

各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。

## 26年度予算のあらまし 一般会計「1号補正」の概要

補正額 4億3,933万7千円

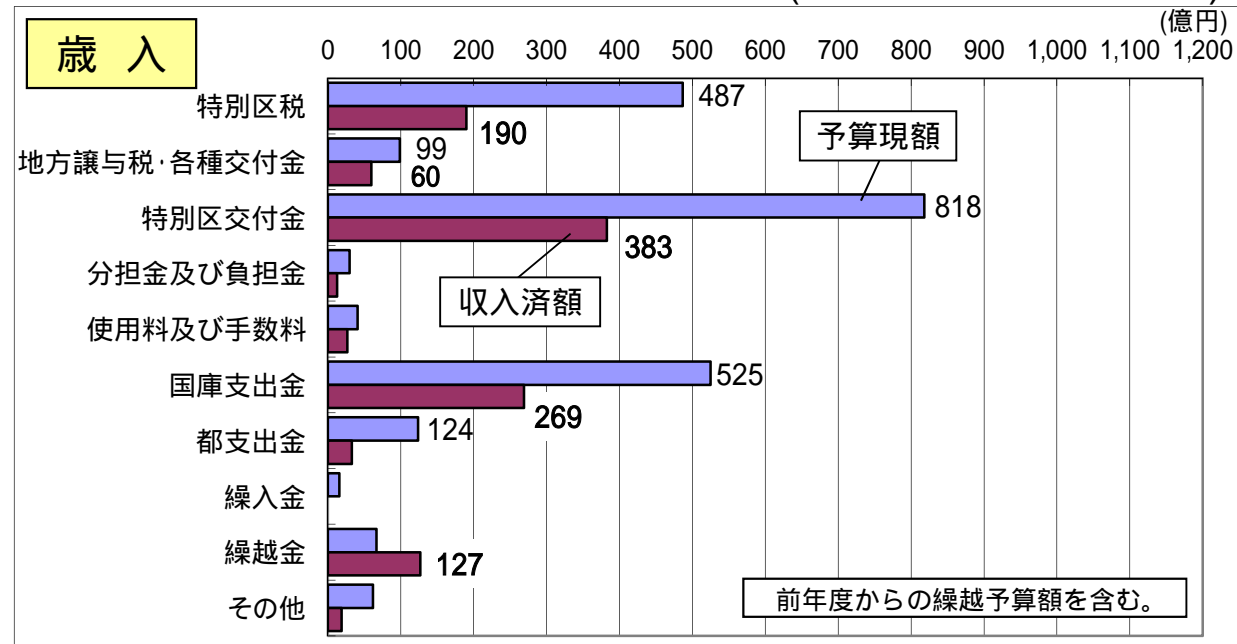
### <歳入>

繰越金	3億6,209万5千円
都支出金	5,242万8千円
国庫支出金	981万1千円
寄付金	801万4千円
諸収入	698万9千円

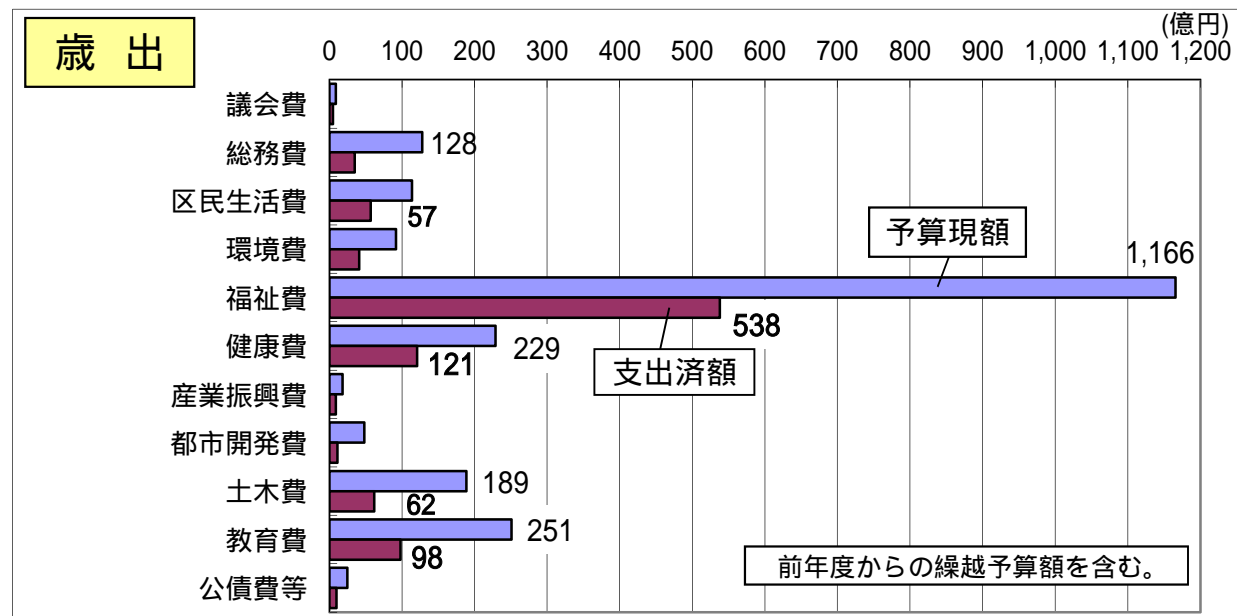
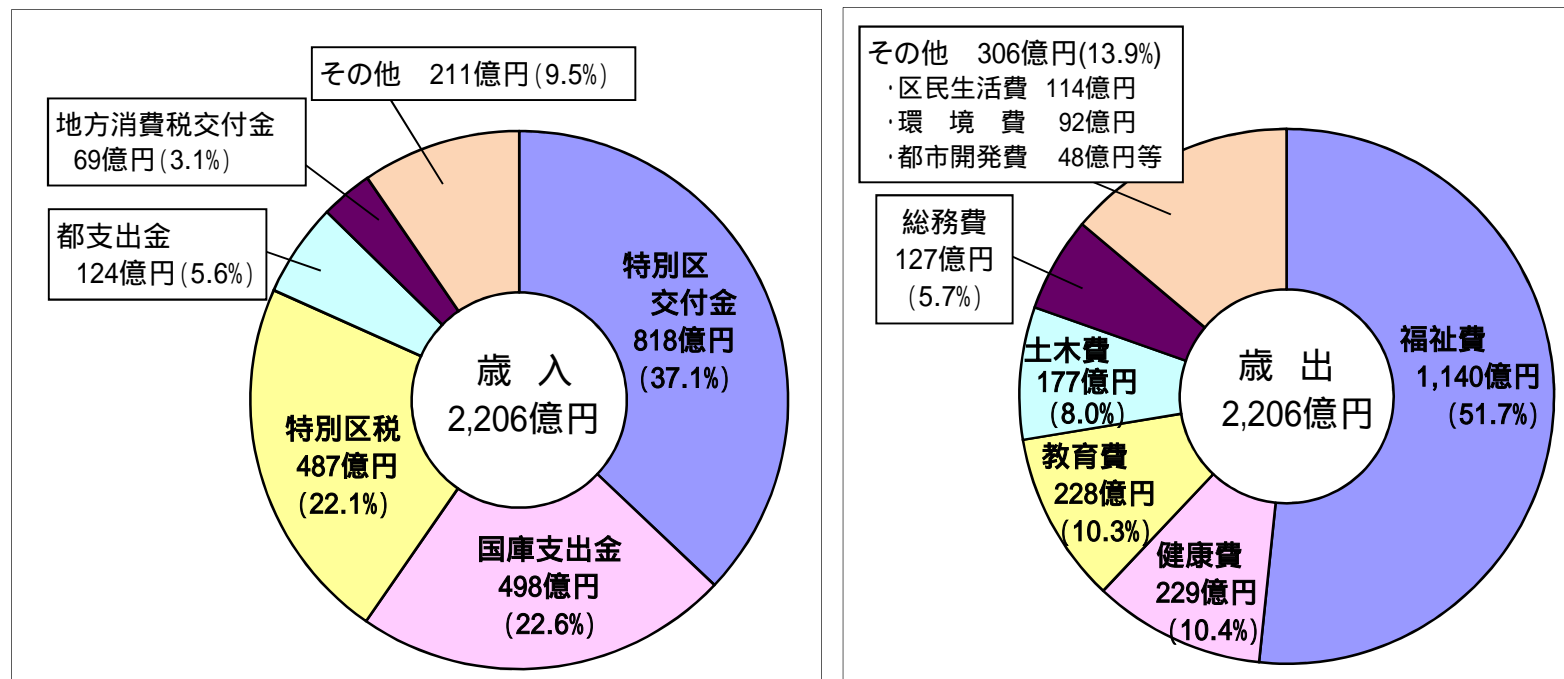
### <歳出>

定期予防接種費	1億635万3千円
（消費税増税及び診療報酬の改定に伴う定期予防接種費の増、 風しんの抗体検査及び予防接種費用の助成経費）	
松江第五中学校施設改築費	1億円
（地中障害物の撤去及び賃金・物価の高騰に伴う増）	
北小岩一丁目東部土地区画整理事業費（直接施行経費）	8,088万2千円
道路拡幅整備費（都市計画道路の事業用地等取得経費）	3,953万9千円

## 26年度予算の執行状況 一般会計（平成26年9月30日現在）

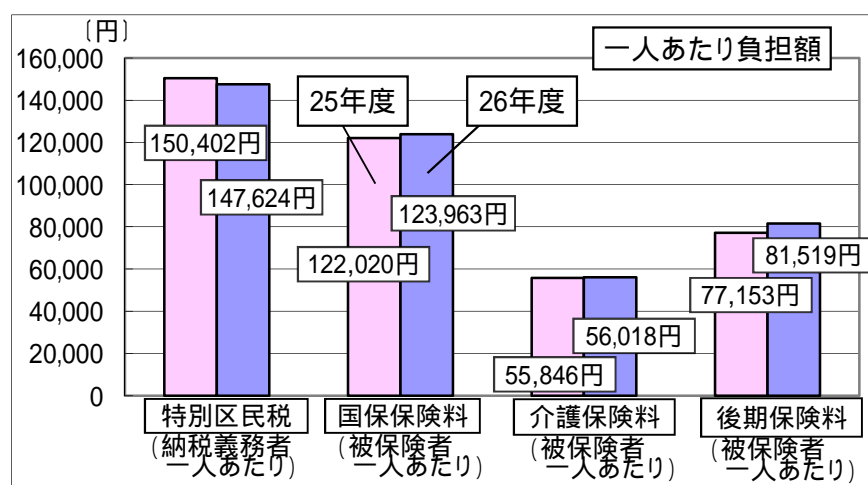


## 補正後の一般会計予算の構成

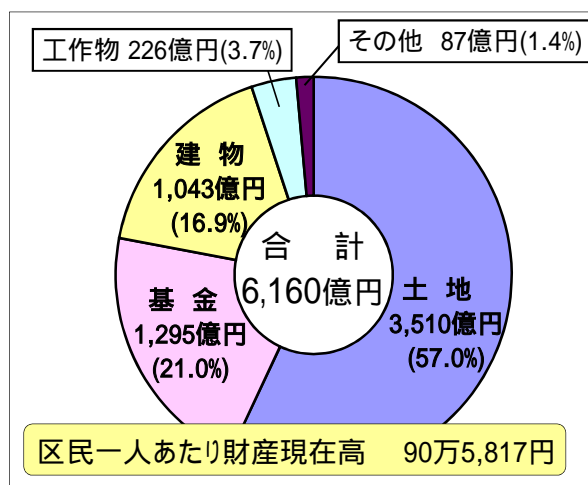


江戸川区の人口（住民基本台帳人口+外国人登録人口） 680,013人（平成26年 9月30日現在）

## 区民の負担概況（平成26年9月30日現在）



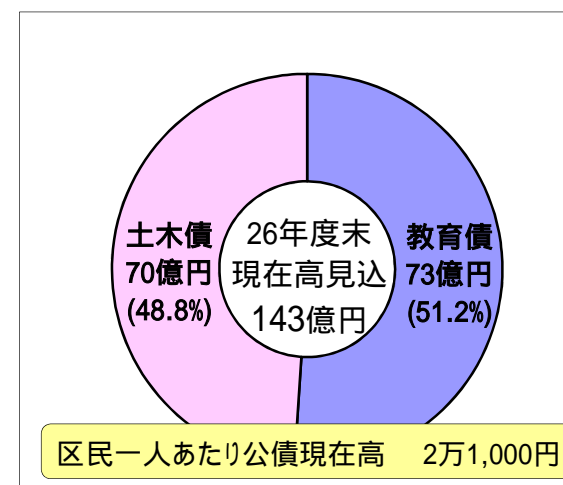
## 財産の現在高（平成26年9月30日現在）



### 基金とは...

積立基金と運用基金の2種類があります。左の基金は、この2つの合計です。  
積立基金は、家計でいうと貯金です。災害発生時や老朽化した施設の改築等への備えで、9月末現在高は1,095億円です。  
運用基金は、一定額の基金を土地取得のために運用するもので、200億円あります。

## 公債の現在高（平成26年9月30日現在見込）



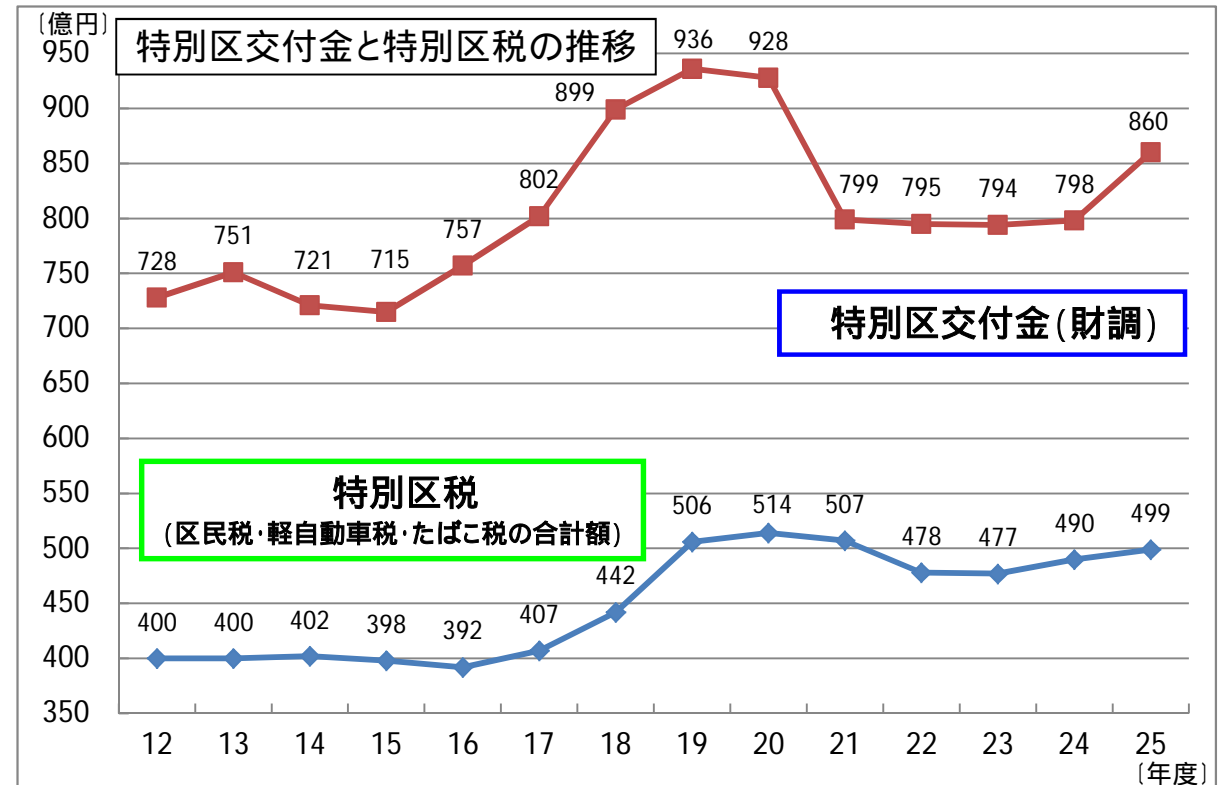
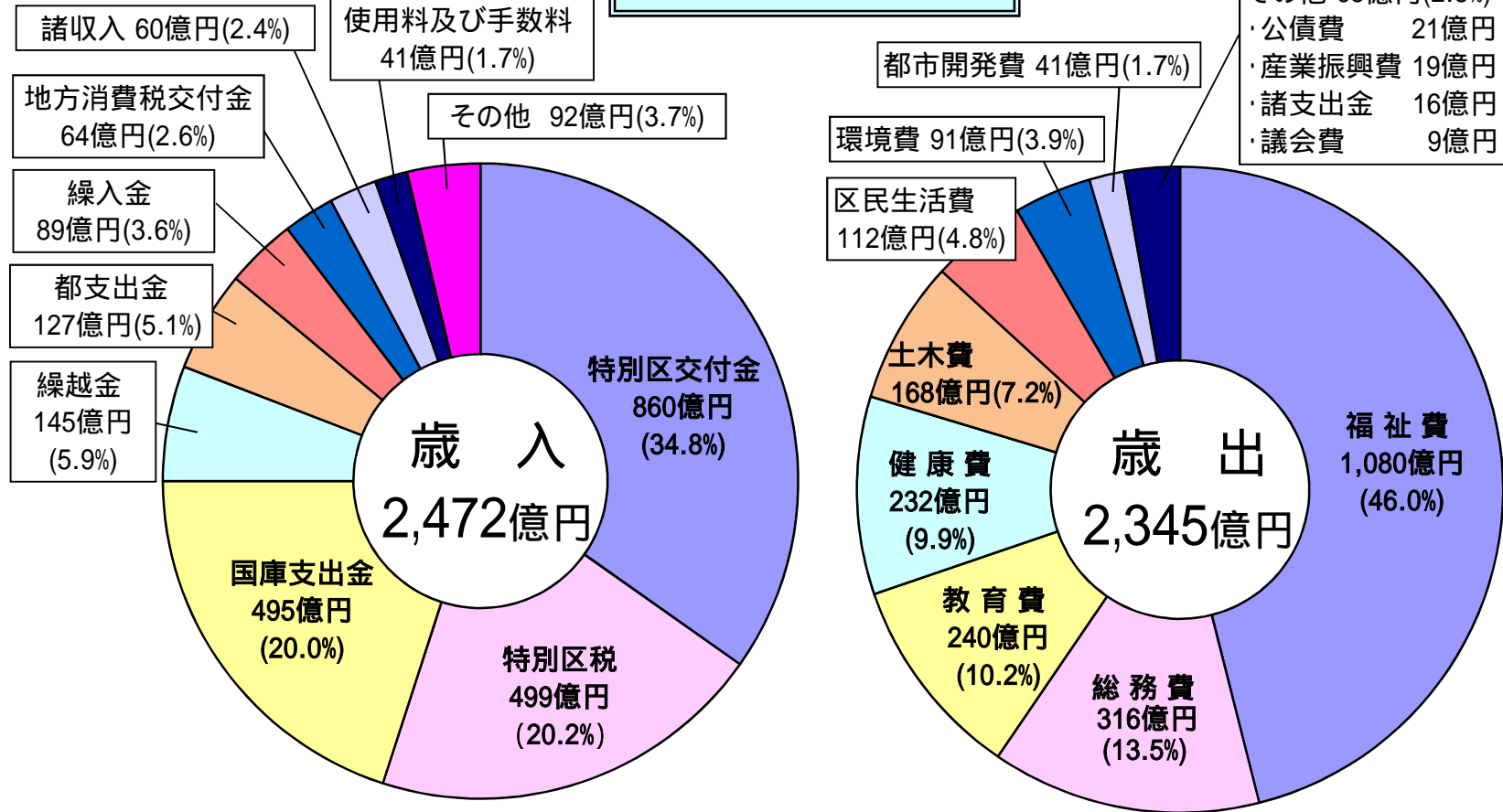
### 公債(区債)とは...

家計でいうと住宅ローンなどの借金です。  
道路整備や学校改築など、いくつかの世代にわたって利用することのできる施設について、将来の区民の方々にもその費用の一部を負担していただくため、公債(区債)を借入れ、負担の公平を図っています。

# 平成25年度 決算の概要

各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。

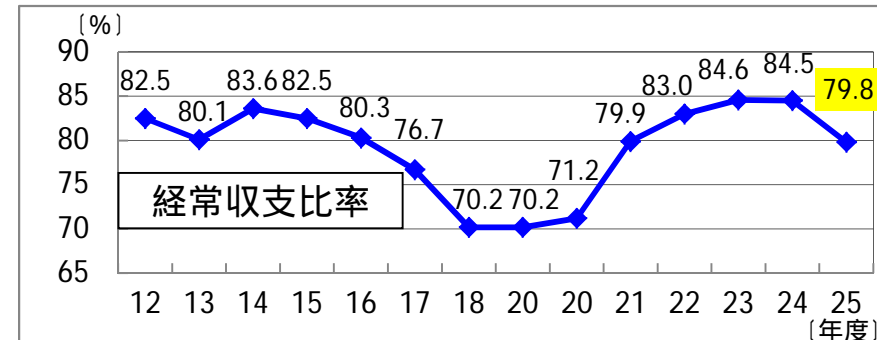
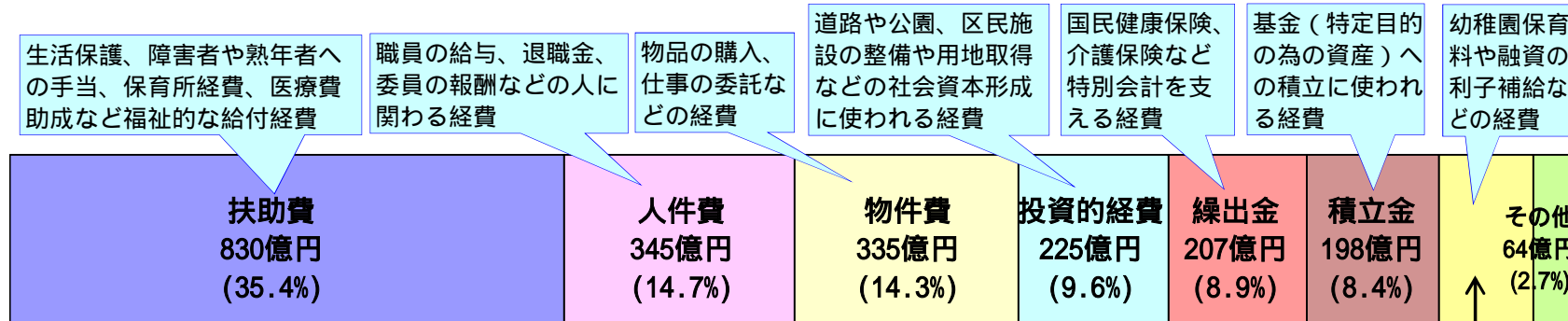
## 一般会計



### 特別区交付金と特別区税

平成20年度以降、景気低迷等により特別区交付金や特別区税は、横ばいの状態が続いていましたが、平成25年度は日本経済の回復の兆しの効果もあり、増収となりました。

### 歳出の性質別内訳



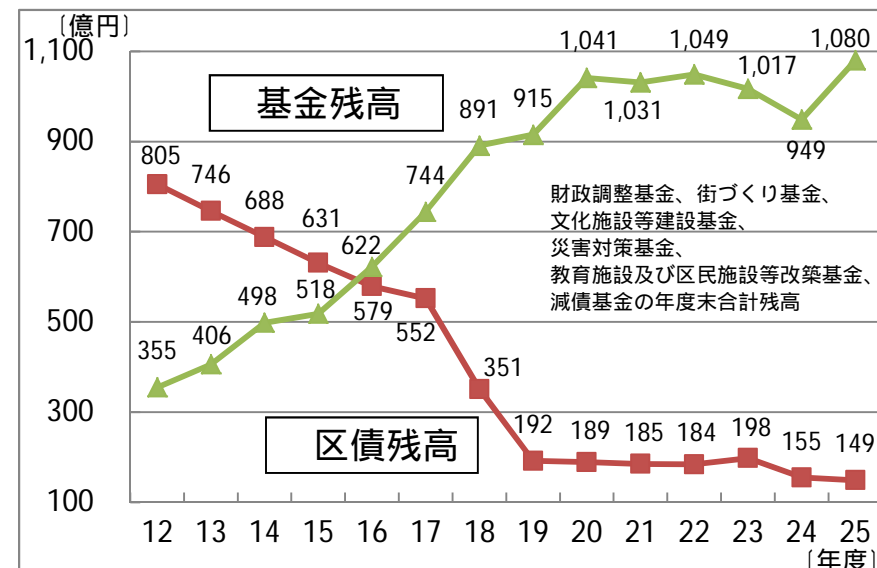
### 経常収支比率

財政構造の弾力性を計る指標で、適正水準は70%~80%です。  
25年度は、前年度から4.7ポイント改善し、4年ぶりに80%を下回りました。

### 平成25年度決算に基づく健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
江戸川区	-	-	5.7%	-
早期健全化基準	11.25%	16.25%	25.0%	350.0%

表中の「-」はマイナス値を表し、25年度決算が黒字であったこと、将来負担すべき額よりも基金(貯金)の方が多く、将来負担比率の該当がなかったことを示しています。  
なお、実質公債費比率がマイナスの場合は「」と表示しています。  
早期健全化基準とは、この数値を超えると財政が危険な状態であることを示す、国が定めた指標で、江戸川区の場合の指標を記載しています。



### 区債と基金の残高

区債残高は、24年度に繰上償還を行ったことにより減少し、25年度末では149億円になりました。  
主要6基金残高は、「財政調整基金」などへの積立により、前年度より131億円の増加となりました。